

# 令和4年度 志布志市立志布志中学校グランドデザイン

**国，県，市の施策**

**〈志布志市学校教育理念〉**  
 【基本理念】きらり輝く三つの教え  
 ○煮しめ（個性の伸長）  
 ○つきあげ（確かな変容）  
 ○にぎりめし（感謝の心）

**保護者や地域の願い**

**先人の思い**  
 ○志布志中 } 三校の  
 ○田之浦中 } 思い  
 ○出水中 } 継承

<b>キャッチフレーズ</b> 『夢と志』実現に向けて、切磋琢磨する志中生	<b>【学校教育目標】</b> 『夢と志』をもち、自らを律し、未来を拓く生徒の育成	<b>校訓</b> 自主 友愛 奉仕
--	--	-----------------------

<b>めざす学校像</b> 「時を守り，場を清め，礼を正す」 (1) 安心して学習に集中できる秩序と落ち着きのある学校 『時を守る』 (2) 清掃が行き届き，学習意欲を高める環境が整った学校 『場を清める』 (3) 生徒・教職員が信頼で結ばれ，挨拶が自然にできる学校 『礼を正す』 <b>『行きたくなる学校づくりProject』プロジェクトS（志布志）</b>	<b>めざす教師像</b> 『仕事は厳しく，職場は楽しく』 (1) 授業で勝負する教師 (2) 生徒を愛し育てる教師 (3) 協調性を発揮し，職務を遂行する教師 (4) 明るく，信頼される教師 (5) 学び続ける教師	
<b>めざす生徒像</b>		
<b>自主</b> (1) 夢と志をもち，実現に向け努力する生徒 (2) 自ら学び，向上心のある生徒 (5) 健やかな体をもち，積極的に行動する生徒	<b>友愛</b> (3) 礼儀正しく明朗で思いやりのある生徒	<b>奉仕</b> (4) 豊かな心を養い，社会性，道徳性を身につけた生徒

「人権教育」はすべての教育の基本

**重点努力目標**

(1) コロナ禍における最適解の追究	(2) 学習指導要領の確実な実施ときめ細やかな学習指導	(3) 系統的な進路指導の推進	(4) 道徳の時間を中心とした心の教育の推進	(5) 業務改善アクションプランの推進
--------------------	-----------------------------	-----------------	------------------------	---------------------

**努力点と具体策**

<b>教育課程</b> 1 学習指導要領の確実な実施 ア ICT機器の活用の充実 イ 学習指導要領の確実な実施 2 学習時間の確保 ア 授業時数確保 イ 正味50分の授業実施 ウ 家庭学習の質の向上・量確保（平日120分，テスト前学年+1時間）（スクリーンタイムは60分以内） エ 志学教室等の積極的活用促進	<b>学力向上</b> 1 基礎・基本の定着（指導方法改善） ア 学業指導の共通理解と共通実践 イ 毎時間の確実な「めあて」板書と終末段階での演習問題の実践 ウ 主体的・対話的で深い学びを意識した授業実践 エ 各種調査結果を反映させた授業 オ Web問題，過去問，よか問等の積極的かつ反復的な活用 2 個に応じた指導等の充実 ア 習熟度等に応じた指導法改善 イ ICT等の活用・学習形態の工夫 ウ タブレット端末や遠隔授業についての研究と実践	<b>心に届く生徒指導</b> 1 行きたくなる学校づくり推進 ア 「プロジェクトS」の推進 イ 教師の先手のあいさつと生徒の言葉遣いやマナー向上 2 組織としての対応 ア 生徒指導部会と各部会との連携強化 イ スズキ校務等での共通理解と共通実践 3 生徒会活動の充実と自力解決力の育成 ア 生徒会，学級生徒会等自主的活動促進 イ 清掃活動の充実 ウ ボランティア活動の促進と激励
<b>特別支援教育</b> ○ 特別支援教育の推進 ア 全校的な支援体制の確立 イ 研修の充実と推進体制の強化 ウ 保護者，就学指導委員会等との連携強化 エ 全生徒の共通理解と支援の共通実践	<b>健康教育</b> ○ 健康・安全教育の充実 ア 感染症対策などの保健指導の充実 イ 防災・安全教育の推進，危険予知能力の育成 ウ 保健・安全情報提供及び関係機関との連携による受診率向上 エ 自転車のマナーアップと安全指導	<b>小中高連携</b> 1 進路指導の充実 ア 計画的，意図的な進路指導学習 イ 啓発的体験（職場体験学習等）推進 ウ 自らの良さを伸ばす進路指導の推進 エ 地域人材を活用した進路学習 2 小・中連携教育の推進 ア 小中連携教育の工夫
<b>信頼される学校づくり</b> 1 組織の活性化 ア 定期的な係会の開催による機能化 イ 1年間を見通した計画的な活動 ウ 学校評価等の分析と活用 エ 信頼される学校の維持 オ 「1Action」「1Try」による業務改善と生徒に向き合う時間の確保 2 校内研修の充実 ア 校内研究授業を通じた共通実践 イ 「道徳」のローテーション授業継続 ウ 研修等への積極的な参加と還元 エ 小中連携教育の研究・連携の工夫	<b>人権教育</b> ○ 人権教育の充実 ア Momを踏まえた生徒理解と対応 イ 基本的人権の尊重 ウ 人権教育の視点での「道徳」実践 エ 保護者等への積極的な広報，啓発	<b>連携強化</b> ○ 保護者・地域と共にある学校づくり ア 家庭教育力の向上を目指したPTA活動の工夫 イ 学校運営協議会，地域団体との協力体制確立 ウ 市（地区）行事等への参加促進 ※ お釈迦祭，花火大会清掃，校区運動会，緑化活動，各種ボランティア エ スピード感をもった広報活動（学校便り，HP）の推進